

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】特開 2003-178528 (P2003-178528A)  
 【公開日】平成 15 年 6 月 27 日 (2003.6.27)  
 【出願番号】特願 2002-304289 (P2002-304289)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**  
**G 1 1 B 20/12 (2006.01)**  
**G 1 1 B 27/00 (2006.01)**  
**H 0 4 N 5/91 (2006.01)**  
**H 0 4 N 5/92 (2006.01)**  
**G 1 1 B 27/02 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B	20/10	3 1 1
G 1 1 B	20/10	G
G 1 1 B	20/12	
G 1 1 B	27/00	D
H 0 4 N	5/91	C
H 0 4 N	5/92	H
G 1 1 B	27/02	K

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 2 月 2 日 (2007.2.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】映像または音声からなる第 1 のデータと、前記第 1 のデータと同期して再生される第 2 のデータとを、記録媒体に記録する記録方法であって、

所定の再生時間分の前記第 1 のデータと、該第 1 のデータに同期して再生される前記第 2 のデータをユニットとして管理し、

前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第 1 のデータ或いは第 2 のデータのビットレートのうちの 1 つに基づいて決定することを特徴とする記録方法。

【請求項 2】映像または音声からなる第 1 のデータと、前記第 1 のデータと同期して再生される第 2 のデータとを記録する記録媒体であって、

所定の再生時間分の前記第 1 のデータと、該第 1 のデータに同期して再生される前記第 2 のデータをユニットとして記録し、

前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第 1 のデータ或いは第 2 のデータのビットレートのうちの 1 つに基づいて決定して、前記第 1 のユニットを記録することを特徴とする記録媒体。

【請求項 3】映像または音声からなる第 1 のデータと、前記第 1 のデータと同期して再生される第 2 のデータとを入力する入力手段と、

所定の再生時間分の前記第 1 のデータと、該第 1 のデータに同期して再生される前記第 2 のデータをユニットとして管理して符号化する符号化手段と、

前記ユニットを記録媒体に記録する記録手段とを備えた記録装置であって、

前記符号化手段は、前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第1のデータ或いは第2のデータのビットレートのうちの1つに基づいて決定することを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【課題を解決するための手段】

本発明は、映像または音声からなる第1のデータ（オリジナルデータ）と、前記第1のデータと同期して再生される第2のデータ（アフレコデータ）とを、記録媒体に記録する記録方法であって、所定の再生時間分の前記第1のデータと、該第1のデータに同期して再生される前記第2のデータをユニット（E U (Editable Unit)）として管理し、前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第1のデータ或いは第2のデータのビットレートのうちの1つに基づいて決定して、前記第1のユニットを記録するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本発明は、映像または音声からなる第1のデータと、前記第1のデータと同期して再生される第2のデータとを記録する記録媒体であって、所定の再生時間分の前記第1のデータと、該第1のデータに同期して再生される前記第2のデータをユニットとして記録し、前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第1のデータ或いは第2のデータのビットレートのうちの1つに基づいて決定して、前記第1のユニットを記録するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに、本発明は、映像または音声からなる第1のデータと、前記第1のデータと同期して再生される第2のデータとを入力する入力手段と、所定の再生時間分の前記第1のデータと、該第1のデータに同期して再生される前記第2のデータをユニットとして管理して符号化する符号化手段と、前記ユニットを記録媒体に記録する記録手段とを備えた記録装置であって、前記符号化手段は、前記ユニットの再生時間を、記録媒体への入出力時におけるデータ転送時間、シーク時間、回転待ち時間、第1のデータ或いは第2のデータのビットレートのうちの1つに基づいて決定するものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0024  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0088  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0089  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0090  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 11】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0091  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
    【0091】  
    【発明の効果】

本願発明によれば、データストリームにおけるユニットの再生時間は、記録媒体の入出力にかかわるシーク時間や、転送レートなどによって求められるため、第2のデータ書き込み時に、再生或いは記録が途切れてしまうという問題がない。